

## 今週（9月2日から9月6日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、月末要因が剥落したものの相場に大きな変化は見られず、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズが強く、レートは高水準で推移した。加重平均レートは、2日(月)から5日(木)まで0.227%で推移し、6日(金)も概ね同水準での推移となった。

ターム物に関しては、月内物となる1W～3W物で0.28～0.30%、期末え物となる1M～3M物で0.30～0.35%で出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、2日(月)に2年債発行などにより548兆円程度まで減少して始まった。その後も税・保険料の揚げや10年債発行を受けて、4日(水)までに542兆円程度にまで減少した。5日(木)にはやや持ち直したものの、6日(金)に30年債発行を受けて再び減少に転じた結果、543兆円程度での着地見込みとなった。

### ●レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、概ね0.235～0.250%程度での推移となった。

SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが軟調に推移した。

6日(金)に行われた3M物入札は強い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは強含みで推移した。

### ●CP市場

今週のCP市場は、サービス業、卸売業、鉄鋼業など、複数の業態が大型発行を行い、発行レートは、銘柄や期間により、投資家の運用目線にばらつきがみられた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
9/2 (月)	38,700.87	0.905	146.20	0.227	0.233	5,481,900
9/3 (火)	38,686.31	0.920	147.10	0.227	0.237	5,450,600
9/4 (水)	37,047.61	0.884	145.25	0.227	0.237	5,423,300
9/5 (木)	36,657.09	0.870	143.75	0.227	0.239	5,434,500
9/6 (金)	36,391.47	0.845	142.30	0.227	0.241	5,426,300

## 来週（9月9日から9月13日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
9/9 (月)	4-6月期のGDP 2次速報(内閣府 8:50) 7月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 8月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	TB6M 35,000億円 9/10発行		7月の米卸売売上高 7月の米消費者信用残高
9/10 (火)	8月のマネーストック(日銀 8:50) 7月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	5Y 23,000億円 9/11発行	エネルギー 対策借入 6,402億円 9/20借入	
9/11 (水)	秋田県金融経済懇談会において中川日銀審議委員講演			8月の米消費者物価指数
9/12 (木)	岡山県金融経済懇談会において田村日銀審議委員講演 8月の企業物価指数(日銀 8:50) 7-9月期の法人企業景気予測調査季報(内閣府・財務省8:50)	20Y 10,000億円 9/13発行		ECB定例理事会 8月の米生産者物価指数 8月の米財政収支
9/13 (金)		TB3M 46,000億円 9/17発行		9月のミシガン大消費者信頼感指数速報

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/9 (月)	600	8,600	9,200	国債買入 国債補完 CP買入 社債買入		6,200	20,500	29,700	TB3M発行▲46,000償還55,000 交付税借入▲12,000期日12,000
9/10 (火)	500	7,000	7,500				0	7,500	労働保険料揚げ TB6M発行▲35,000償還40,000 10Y物価 償還7,000
9/11 (水)	500	▲24,000	▲23,500				0	▲23,500	5Y発行▲23,000
9/12 (木)	▲500	2,000	1,500				0	1,500	源泉税揚げ 社会保障費払い
9/13 (金)	▲500	▲9,000	▲9,500	貸出増加支援	▲132,300		▲132,300	▲141,800	20Y発行▲10,000
週間合計	600	▲15,400	▲14,800	—	▲118,000	6,200	▲111,800	▲126,600	

9/9は日銀予想、9/10以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き邦銀業態を中心に調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、レート水準は横這い圏での推移となることが予想される。債券レポGC T/N物のレート水準は、0.18~0.25%程度のレンジで取引される事が予想される。短国市場は、9日(月)に6M物、13日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、11日(水)に五・十日発行の入札が予定されているが、9月末を控え、残高がどの程度まで膨らむか動向が注目される。

主要なイベントは、国内では9日(月)に4-6月期のGDP 2次速報、7月の国際収支、12日(木)に8月の企業物価指数、海外では、11日(水)に8月の米消費者物価指数、12日(木)にECB定例理事会などが予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入